

漁海況情報第3報 (2010年6月4日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0153

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

仙台湾の水温が平年よりも低くなっています。

本県沿岸から沖合の表面水温は、11～17℃台となっています。平年との比較では、仙台湾で2～3℃低く、沖合海域（142° 30′ E以東）の38° 30′ 付近で平年よりも2～4℃低くなっています。

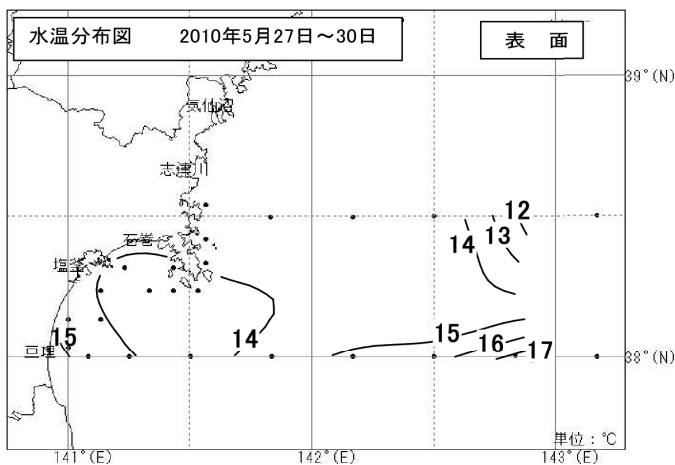
100m深水温については、7～12℃台となっています。平年との比較では、沖合海域（142° 30′ E以東）の38° 30′ 付近で1～2℃低く、38° 00′ 付近では平年並みから4℃高くなっています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]

水温鉛直断面図をみると、雄勝沖合ライン及び互理沖合ラインのいずれも表面付近が昇温し、下層との温度差が先月よりも大きくなっています。[P2.水温鉛直断面図]

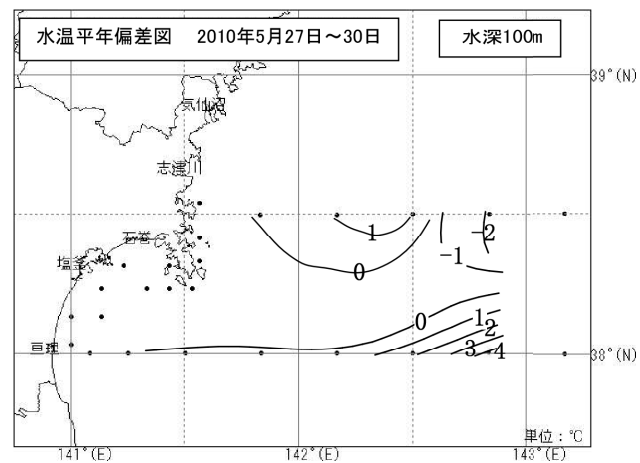
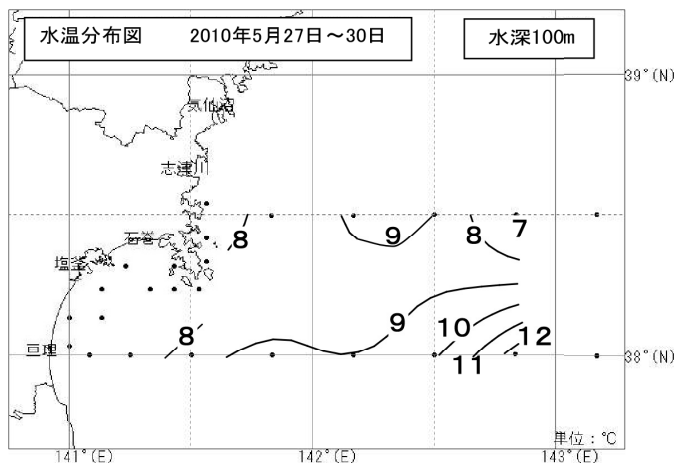
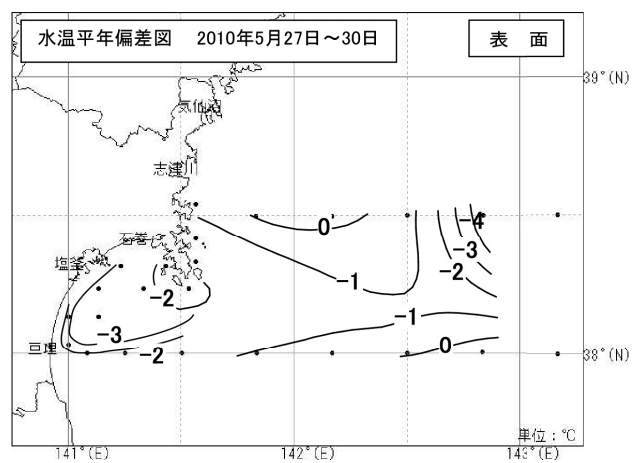
東北海域の表面水温の分布について、38° 45′ ～39° 40′ N・142° 15′ ～143° 30′ Eに12～15℃の暖水が渦状に分布しています。[P2.東北海域の海況図：(社)漁業情報サービスセンター]

5月下旬の定地水温は、歌津・江島で4月下旬よりも約6℃昇温し、平年よりやや高め。田代島では1.5℃昇温し、平年より低めとなっています。[P2.定地海洋観測結果]

・水温水平分布図



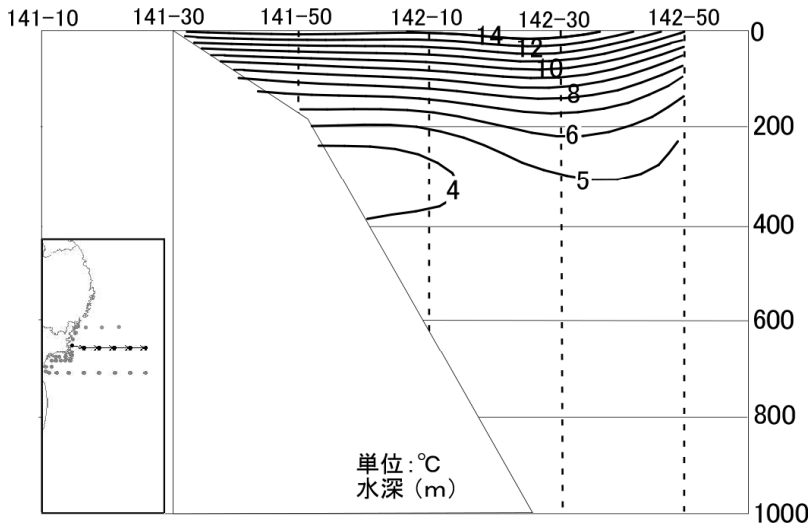
・水温平年偏差図（現在水温と平年水温との差）



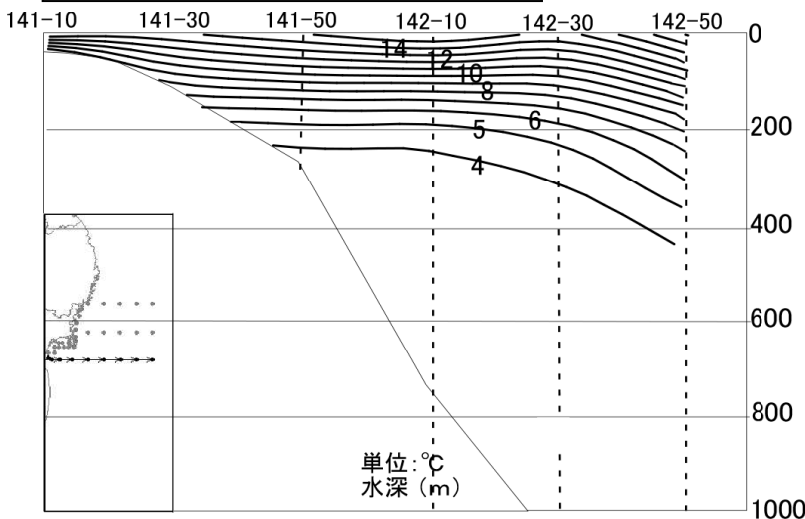
※ 海洋観測は拓洋丸と開洋が実施しました。

・水温鉛直断面図

38° 30' N ライン (雄勝沖合ライン)

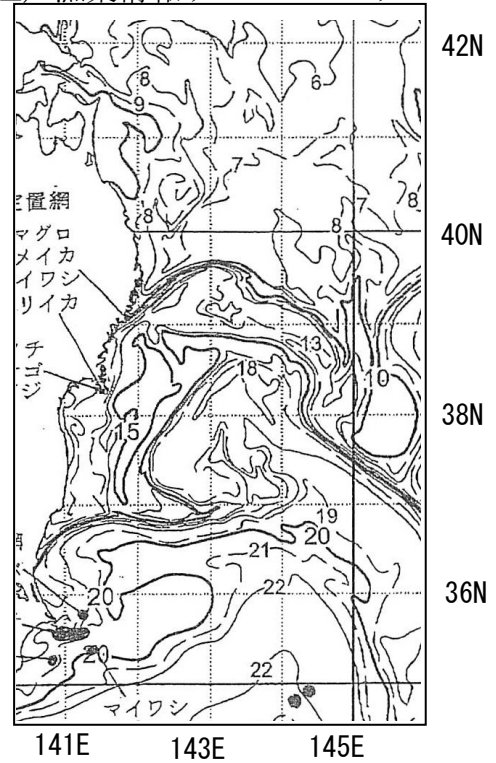


38° N ライン (亶理沖合ライン)



・ 2010 年 5 月 31 日の東北海域の海況 (表面水温)

(社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (社) 漁業情報サービスセンター

- ・ 鹿島灘～金華山沿岸は 12～20℃台。
- ・ 金華山以北の沿岸は 7～15℃台。
- ・ 津軽暖流は 9～10℃台が沿岸を南下。
- ・ 10℃の南端は 37° 30' N・145° 30' E、15℃の北端は 38° 55' N・142° 15' E、20℃の北端は 36° 45' N・144° 25' E。
- ・ 15℃の先端は気仙沼沖に分布。
- ・ 東北近海の表面水温 (5月26日) の平年比は中南部海域が並～高め。前年比は並～低め主体。
- ・ 大船渡沖 38° 45' ～39° 40' N・142° 15' ～143° 30' E に 12～15℃の暖水が渦状に分布。
- ・ 北上暖水の縁辺は各所で潮境が発達。

・ 定地海洋観測結果 (℃)

	5月下旬 (平年比)		平年差	前年差
歌津	12.8	(やや高い)	+0.6	+0.3
江島	12.6	(やや高い)	+1.1	+0.1
田代島	12.9	(低い)	-1.4	-1.3

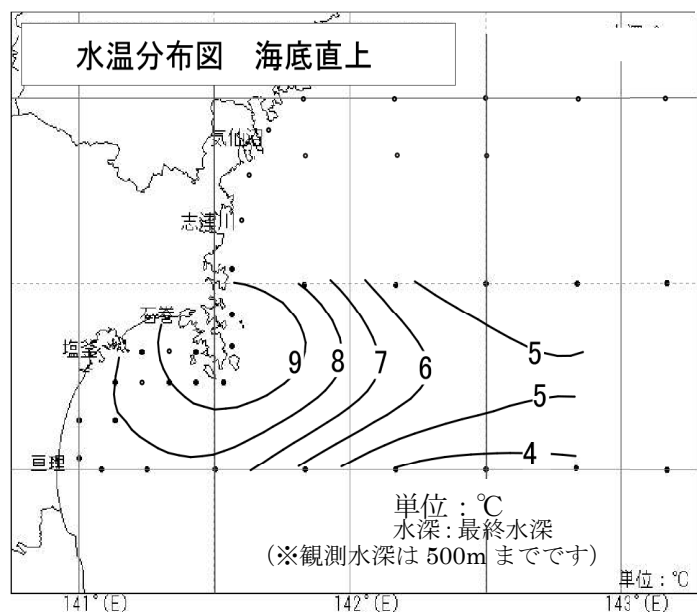
※平年差は、江島、田代島：過去30年間、歌津：過去10年間との比較。

※毎日の定地水温情報は当センターホームページでも見られます。

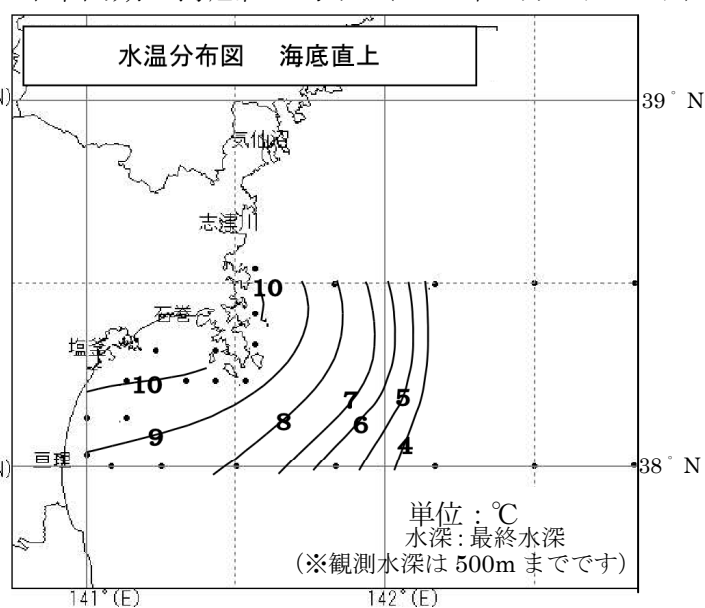
(<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>)

2. 底層水温図

・海底直上水温(2010年5月27日～31日)



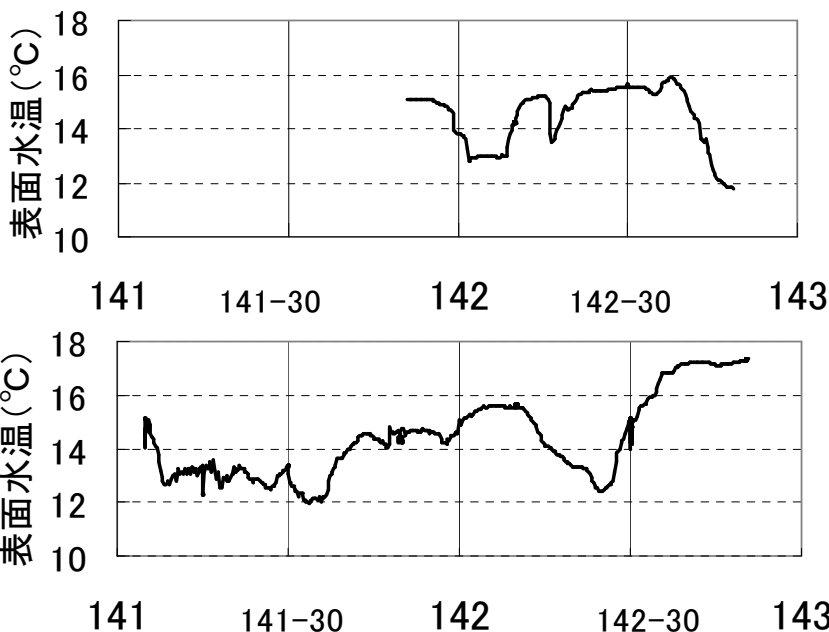
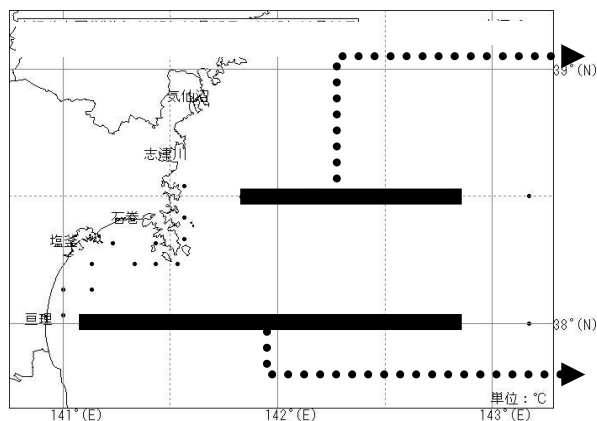
・昨年同期の海底直上水温 (2009年6月1日～2日)



※海底直上水温について、約1℃低めです。

3. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



4. 漁況

主要魚種の県内10魚市場の水揚量。(集計期間:2010年5月1日～5月31日, 単位:t)

魚種	沖底	小底	刺網	巻網	定置網	敷網・抄網	ランプ網	延縄	大目流網	その他	総計	前年比 (%)
コウナゴ	0	3	0	0	9		1,968	0	0	0	1,980	505
メロウド	0	0	0	0	6	48	0	0	0	1	55	111
マイワシ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	260
カタクチイワシ	0	0	0	0	2,474	0	0	0	0	51	2,525	113
スケトウダラ	195	1	0	0	0	0	0	0	0	220	417	47
マダラ	2,214	63	0	0	1	0	0	0	0	701	2,980	437
カツオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	14	16	2
サバ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	653
クロマグロ	0	0	0	0	3	0	0	1	3	5	13	33
サワラ	1	0	0	0	129	0	0	1	0	3	134	433
スルメイカ	1	2	0	0	27	0	0	0	0	3	32	7

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

今漁期のコウナゴ水揚げ結果について

平成 22 年 5 月 30 日に本県の火光利用敷網漁業によるコウナゴ漁が終了しましたので、その概要をお知らせします。

1 水揚げ状況

平成 22 年 5 月 30 日までの宮城県主要港に水揚げされたコウナゴの水揚げ実績は、数量で 2,749 トンと過去 10 年間の平均 4,953 トンを下回る結果となりました。(表 1)

2 漁期中の漁海況

- ・本県漁業調査指導船「拓洋丸」「開洋」が 4 月中旬から 5 月中旬にかけて行った科学計量魚群探知機及び中層トロール調査では、魚群は波島沖を中心とした海域にのみにしか確認されませんでした。
- ・今漁期の海況は、冷水の影響により漁開始の 3 月から仙台湾内の水温は低く推移しました。
- ・体長は 4 月が 3 c m 台、5 月が 4 c m 台のものが主体で、昨年よりも約 1 c m 小さかったです。
- ・5 月に入り仙台湾内の水温もやや上昇し、200t 近い水揚げがあった日もありましたが、最終的に漁獲量は平年を下回りました。

表 1 コウナゴ漁獲量

西暦	平成	3月	4月	5月	計
2000	12年		1,772	7,576	9,348
2001	13年		2,944	6,587	9,531
2002	14年	84	977	536	1,597
2003	15年	67	2,026	2,946	5,039
2004	16年	44	1,595	2,698	4,337
2005	17年	3	993	5,130	6,126
2006	18年		1,265	2,499	3,764
2007	19年	5	319	29	353
2008	20年	84	1,052	6,744	7,880
2009	21年	115	1,056	386	1,557
2010	22年	121	664	1,964	2,749

2,000年からの平均値

4,953

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計

5. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
6 月 14 日 ~ 17 日	イカ一斉調査
6 月 21 日 ~ 23 日	タラ類新規加入量調査
6 月 28 日 ~ 29 日	沿岸定線調査
開 洋	
6 月 15 日	マアナゴレプト調査
6 月 21 日	仙台湾定期水質調査
6 月 28 日 ~ 29 日	浅海定線調査